

第 39 回日本腹部放射線学会開催のご挨拶



第39回日本腹部放射線学会
会長 藤井 進也
鳥取大学医学部 画像診断治療学分野

第 39 回日本腹部放射線学会を 2026 年 6 月 5 日（金）、6 日（土）の両日、鳥取県米子市の米子コンベンションセンターにて開催いたします。

本学会は症例毎に画像と病理を詳細に対比し、腹部放射線学の本質を深く学べる貴重な場です。初めてご参加くださる先生方はもちろん、毎年楽しみにしてくださる先生方も多くいらっしゃいます。私自身もその一人です。特に思い出深いのは、2004 年松本での発表です。自然退縮を呈した両側卵巣顆粒膜細胞腫を口演発表しましたが、清川貴子先生からの貴重なご意見、杉村和朗先生から頂いた温かい励ましは、その後の臨床・研究活動の大きな糧となりました。本学会は、こうした人との出会いや繋がりを育む場であると強く感じています。

開催地の米子は日本海の幸や雄大な大山を望める自然豊かな土地です。米子鬼太郎空港からは会場まで約 30 分、JR 米子駅からは徒歩 1 ～ 2 分とアクセスも良好です。ぜひ学会とともに、この地域の魅力も味わっていただければ幸いです。

例年の参加者は約 400 名ですが、今回は米子にちなみ、475 名の先生方に 47 都道府県からご参加いただくことを目標としています。第 39 回だけに感謝の気持ちを込めて皆様をお迎えし、腹部放射線学の発展が花咲く実り多い会となるよう準備を進めて参ります。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

一般社団法人日本腹部放射線学会役員名簿

《代表理事》 陣崎 雅弘 (慶應大)

《副代表理事》 梶 靖 (島根大) 吉満 研吾 (福岡大)

《理事》: 12 名

赤羽 正章 (国際医療福祉大)	石神 康生 (九州大)	伊東 克能 (山口大)	木戸 晶 (富山大)
小林 聡 (金沢大)	小山 貴 (倉敷中央病院)	高瀬 圭 (東北大)	高橋 哲 (高槻病院)
玉田 勉 (川崎医大)	藤井 進也 (鳥取大)	藤永 康成 (信州大)	村上 卓道 (神戸大)

《監事》: 2 名

扇谷 芳光 (昭和大学) 松木 充 (自治医科大学とちぎ子ども医セ)

《評議員》: 73 名

【北海道・東北地区】6 名

児玉 芳尚 (恵佑会札幌)	紺野 義浩 (東北大)	篠原 敦 (大館市立総合)	澁谷 剛一 (青森県立中央)
津田 雅視 (仙台市立病院)	山田 隆之 (東北医科薬科大)		

【関東・甲信越地区】22 名

秋田 大宇 (埼玉メディカルセ)	市川 珠紀 (東海大)	市川 智章 (群馬大)	江戸 博美 (防衛医大)
大彌 歩 (信州大)	岡田 真広 (日本大)	北井 里実 (がん研有明)	五味 達哉 (東邦大大橋)
近藤 浩史 (帝京大)	齋藤 和博 (東京医科大)	佐野 勝廣 (順天堂大)	曾我 茂義 (獨協医大)
竹下 浩二 (東京山手メディカル)	田中優美子 (がん研有明)	田村 綾子 (東京北医療セ)	那須 克宏 (千葉大)
原留 弘樹 (北里大)	本杉宇太郎 (甲府共立病院)	森 健作 (がん研有明)	山田 哲 (信州大)
吉村 宣彦 (新潟市民病院)	渡谷 岳行 (国立国際医療研究セ)		

【中部・北陸地区】11 名

阿保 齊 (富山県立中央)	石垣 聡子 (名古屋大)	市川新太郎 (山梨大)	尾崎 公美 (浜松医大)
北尾 梓 (金沢大)	五島 聡 (浜松医大)	鈴木耕次郎 (愛知医大)	竹内 充 (ラジオロネット東海)
野田 佳史 (岐阜大)	南 哲弥 (金沢医大)	山本 亨 (福井県立)	

【近畿地区】17 名

井上 明星 (滋賀医大)	今岡いずみ (神戸大)	大田 信一 (長浜赤十字)	大西 裕満 (大阪大)
蟹江悠一郎 (姫路赤十字)	狩谷 秀治 (関西医大)	北島 一宏 (兵庫医大)	杉本 幸司 (三栄会広畑)
祖父江慶太郎 (神戸大)	高濱 潤子 (奈良医療セ)	坪山 尚寛 (近畿大)	鶴崎 正勝 (関西医大)
中井 豪 (大阪医科薬科大)	兵頭 朋子 (近畿大)	堀 雅敏 (大阪大)	丸上 永晃 (清恵会)
山本 和宏 (大阪医科薬科大)			

【中国・四国地区】9 名

竹内麻由美 (徳島大)	田辺 昌寛 (山口大)	中村 優子 (広島大)	福倉 良彦 (川崎医大)
松崎 健司 (水の都記念)	松田 恵 (愛媛大)	山上 卓士 (高知大)	山本 亮 (川崎医大)
吉廻 毅 (島根大)			

【九州・沖縄地区】8 名

青木 隆敏 (産業医大)	浅山 良樹 (大分大)	伊良波裕子 (琉球大)	片平 和博 (熊本中央病院)
高山 幸久 (福岡中央)	浪本 智弘 (くまもと県北)	西江 昭弘 (琉球大)	林 秀行 (諫早総合)

《名誉会員》: 20 名

荒木 力 (健康科学大)	今井 裕 (調布駅前画像診断)	大友 邦 (国際医療福祉大)	角谷 眞澄 (石川県成人病予防セ)
蒲田 敏文 (浅ノ川総合)	黒田 知純 (大阪がん予セ)	後閑 武彦 (昭和大学)	新本 弘 (入間ハート)
杉村 和朗 (神戸大)	竹原 康雄 (名古屋大)	富樫かおり (京都市大)	中尾 宣夫 (兵庫医大)
中村 仁信 (彩都友誼会)	鳴海 善文 (京都橋大)	平松 慶博 (立川北口健診館)	松井 修 (金沢大)
南 学 (筑波大)	宗近 宏次 (総合南東北病院)	森 宣 (LSI 札幌クリニック)	山下 康行 (くまもと県北)

《功労会員》: 7 名

木戸長一郎 (木戸病院)	隈崎 達夫 (さわやか済世)	齋田 幸久 (東京医科歯科大)	竹川 鉦一 (総合南東北病院)
田村 正三 (川南病院)	山田 龍作 (大阪河崎リハ)	吉田 哲雄 (県立足柄上)	

(117 名敬称略・五十音順)

【一般社団法人日本腹部放射線学会事務局】

代表理事: 陣崎 雅弘

事務局: 玉木 直美

慶應義塾大学医学部放射線科学教室

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地

E-mail: jsar@rad.med.keio.ac.jp

TEL: 03-5363-3837

一般社団法人設立と正会員としての年会費制について

本会は1990年から「任意団体」として活動して参りましたが、会員数も平成22年には900名を越え、国内外の腹部放射線医学・画像診断学領域において重要な役割を果たしております。

放射線医学の更なる発展の基盤となるよう、平成23年2月7日（月）に名実ともに「一般社団法人日本腹部放射線研究会」として設立登記し、平成25年6月21日（金）に「一般社団法人 日本腹部放射線学会」となりました。

尚、「一般社団法人」は主に「会費収入」で成り立つ事が条件と定める公正取引委員会での取決めに基

づき、平成23年度より正会員としての「年会費制(8,000円)」を導入し、お支払い手続きのご負担軽減の為、全てクレジットカード決済としております。

【正会員の継続について】

法人年度切替時期になりましたら、正会員としての継続の意思を事前確認させていただきますので、継続される場合は学会ホームページの会員登録より「確認・修正」をご選択頂き、年会費のクレジットカード決済のご入力を御願いたします。なお、2018年度よりセキュリティ強化の為、年会費納入の為に入力されたカード情報は、本会で保管しない方針となり、年会費は自動決済されませんのでご注意ください。

【新規に正会員としてご登録頂く場合】

本学会の法人化前（平成23年2月7日以前）に会員登録済みの場合は、学会ホームページの会員登録より「確認・修正」をご選択頂き、登録内容を確認・修正してください。この際には年会費のクレジットカード決済のご入力を御願いたします。

・年会費納入期間：日本腹部放射線学会法人年度内（5月1日～翌年4月末日）

但し、学会開催前の5月1日～31日の間に、当年度の「年会費（8,000円）」を納入して頂いた場合は、同年6月に開催されます学術集会の参加費（15,000円）を、年会費納入の特典として減額いたします（正会員：5,000円、但し、初期研修医は免除）。

上記期間内に「年会費」を納入されない場合は、学術集会『参加費（15,000円）』は当日、会場にてお支払いください。

〔年会費納入の特典〕

- 1) 学会および学会関連学会の情報提供
- 2) 学会ホームページ上の「デジタルアトラス」の閲覧資格取得
- 3) 日本腹部放射線学会バイエル奨励賞の応募資格取得
- 4) 当年度の学会当日参加費の優遇

（学会開催前の5月1日～31日の間に年会費を納入して頂いた場合に限られます）

正会員	5,000円（但し、初期研修医は免除）
非会員	15,000円（但し、初期・後期研修医は5,000円）

「正会員」となることにより、多くの先生方が日常診療や研究活動及び教育の場において幅広くその特典を活用されることを祈願いたします。

一般社団法人日本腹部放射線学会
代表理事 陣崎 雅弘

ご案内

1. 参加受付

1) 参加登録はすべて、第 39 回日本腹部放射線学会 HP から参加登録システムより各自、ご登録ください。

参加登録期間 : 2026 年 4 月 1 日 (水) ~ 6 月 6 日 (土)

参加登録サイト : <https://www.jsar.jp/39th/registration.html>

※現地、会場での現金による参加登録は行いません。

当日も PC にて参加登録システム (クレジット決済) より、参加登録いただくこととなりますので事前に参加登録をお済ませの上、お越しいただくことをお勧めいたします。

2) 参加費は下記の通りです。

現地会場にご参加の場合は参加登録時に配信されます「登録完了メール」をプリントアウトし受付にてご提示ください。名札をお渡しさせていただきます。

正会員	5,000 円 (但し、初期研修医は免除)
非会員	15,000 円 (但し、初期・後期研修医は 5,000 円)

※領収書・参加証明書については、参加登録完了メールに記載されております URL より各自でダウンロードできます。再発行はできかねますので、大切に保管ください。

2. 当日受付

日 時 : 2026 年 6 月 5 日 (金) 8 : 00

2026 年 6 月 6 日 (土) 7 : 30

場 所 : 米子コンベンションセンター 1F 情報プラザ

※当日も現地にて受付はございますが、現金での対面受付は行わず、すべて、WEB からの参加登録受付となります。当日受付は混み合う可能性もありますので、極力、事前参加登録をお願いいたします。

※当日受付にて事前参加登録時に配信されます「参加登録受付完了メール」をプリントアウトしご提示ください。引き換えに「名札」をお渡しいたします。

3. 一般演題

【一般口演】

・口演会場は 2F 国際会議室です。

1) 座 長

- ・ご担当頂くセッションの終了時間を厳守してください。一般口演の発表時間は以下のとおりとなります。
- ・一般演題 CasereportorCaseseries : 9 分 (発表 5 分、討論 4 分 (病理コメントを含む))
- ・大会長公募症例 : ※症例数によって異なりますので、個別にご連絡させていただきます。
- ・一般演題 PreliminaryResearch : 10 分 (発表 7 分、討論 3 分)

2) 発表者

◆「プレデジタルアトラス」について

発表者全員に学会ホームページ上で発表内容を「プレデジタルアトラス」形式で事前入力していただき、非公開で「打田賞」事前審査に活用させていただきます。また、学会当日、充実した討論をして頂く為に、病理コメンテーターの先生方による症例内容の事前確認をプレデジタルアトラスにて行いますので、入稿の際には詳細な病理像を掲載できるよう予めデータのご準備をお願いいたします。

◆「デジタルアトラス」、学術誌「臨床放射線」掲載について

学会終了後に、掲載希望確認の上、「ブレデジタルアトラス」を「デジタルアトラス」として学会ホームページに掲載いたします。また、選考委員より推薦された演題は日本腹部放射線学会が、学術誌「臨床放射線」への投稿（「ブレデジタルアトラス」＋「英文サマリー」＋「査読」）をサポートいたします。（学術誌「臨床放射線」と「デジタルアトラス」のホームページ併載は二重投稿となりません。）

＜タイムスケジュール＞

[illegible]

※)「臨床放射線」掲載予定は金原出版社の最終協議により決定いたします。

＜執筆要綱（概略）＞

①プレデジタルアトラス (=デジタルアトラス)』

日本語入力	〔症例報告〕 3,200 字以上 8,800 字以内 〔原著論文〕 3,200 字以上 12,800 字以内 ※) 図、表…1 点を 400 字に換算
英語入力	〔CaseReport〕 2,000 語以内 〔OriginalArticle〕 3,000 語以内 ※) 図、表…15 点以内

②「臨床放射線」

選考委員により推薦された演題については、「ブレデジタルアトラス」掲載内容を論文の体裁に整えていただき、英文サマリー（演題名、演者名、所属含 100 ワード以内）を追加後、査読・校正を通して同学術誌へ投稿していただく事ができます。又、英語入力された場合は臨床放射線の投稿規定に準じていただきます。

◆発表時間

- ・一般口演の発表時間は以下のとおりとなります。
時間厳守をお願いいたします。
 - ・一般演題 CasereportorCaseseries：9分（発表5分、討論4分（病理コメントを含む））
 - ・大会長公募症例：※症例数によって異なりますので、個別にご連絡させていただきます。
 - ・一般演題 PreliminaryResearch：10分（発表7分、討論3分）

◆発表形式

- ・PC による発表ですので、データもしくはご自身の PC をご持参ください。
- ・会場に設置されるプロジェクターは 1 画面となり、解像度は 1,920 × 1,080 ピクセルです。
- ・当日は演者ご自身で舞台上に設置されてあるキーボード及びマウスにて操作していただきます。
- ・発表終了後、座長の指示の後、病理コメンテーターによるコメント、質疑応答に対応ください。病理コメンテーターがコメントをする際に、病理写真のスライドを使うことがございますので、最終スライドの後に、発表で使ったものと同じ病理写真のスライドを再掲してください。発表で提示していない病理写真を入れることはできません。

◆ PC 受付

PC 受付（2F 国際会議室前）にて、発表の 30 分前までに試写をお済ませください（十分時間に余裕を持って PC 受付を行っていただきますようお願いいたします）。

- ・ PC 受付での発表データの修正作業はご遠慮ください。
- ・ PC 本体をお持ち込みの方はデータ確認終了後、発表会場の PC オペレーター席（会場ステージ向かって左側）までご自身でお持ちください。

◆発表に関する注意事項

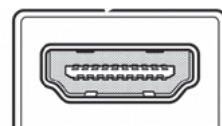
- ・講演会場にはワイドサイズのスクリーン（16：9）をご準備しております。
標準サイズ（4：3）のデータもご利用いただけますが、ワイドサイズ（16：9）での作成を推奨します。

＜データをお持ち込みの方＞

- ・発表は Windows の PowerPoint となります。発表データは CD-R、DVD-R または USB フラッシュメモリのメディアにてご持参ください（CD-RW、DVD-RW は不可）。
- ・ご発表用アプリケーションは以下のバージョンをご用意いたします。
WindowsPowerPoint：2021～2024、365
※ Macintosh で発表データを作成される方は、ご自身の PC をご持参ください。
- ・フォントは OS 標準で装備されているものをご使用ください。画面レイアウトの崩れを防ぐには、下記フォントのご使用をお薦めいたします。
推奨フォント/ 日本語の場合 MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
推奨フォント/ 英語の場合 Century、CenturyGothic、Arial、ArialBlack、TimesNewRoman
上記以外のフォントを使用した場合、文字や段落のずれ、文字化け、文字が表示されない等のトラブルが起こる可能性があります。
- ・動画をご使用の場合は、PowerPoint とのリンク状態を保つため、動画ファイルも同じフォルダに保存してください。ファイル形式は、WindowsMediaPlayer12（標準コーデック）で動作するファイル形式でご用意ください（推奨：mp4）。
※ AVI は CODEC によって再生できない場合があります。
動画をご使用の場合は、ご自身の PC をご持参いただくことをお薦めいたします。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。
- ・お預かりした発表データは、学会終了後、事務局にて消去いたします。

＜PC 本体をご持参される方＞

- ・PC 本体をお持ち込みの方は、PC 受付でのデータ確認終了後、発表会場の PC オペレーター席（会場ステージ向かって左側）までご自身でお持ちください。
- ・PC お持ち込みの場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。
- ・バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参ください。再起動することがありますので起動の際のパスワード設定は必ず解除してください。
- ・出力端子が HDMI ピンでないものは、接続アダプターをご持参ください。
※ D-sub15 や MiniDisplayPort などの HDMI 以外の接続はお受けできません。
- ・画面サイズ（解像度）は 1,920 × 1,080 となります。
- ・この環境で画面のすべてが不具合なく表示されることを、予めご確認ください。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。
- ・スクリーンセーバー、ウイルスチェック、並びに省電力設定（Macintosh の場合はホットコーナーも）は、あらかじめ解除をお願いいたします。



<HDMI>

【ポスター展示】

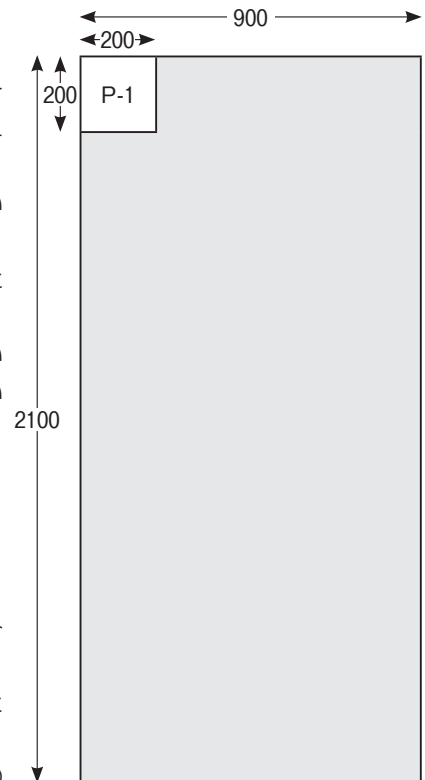
- ・ポスター展示会場
一般展示：3F（第1～第3会議室）、5F（第4～第6会議室）
問題提示（クイズ）：2F 国際会議室前ホワイエ
- ・ポスター展示については、一般展示、問題提示（クイズ）形式の2種類があります。
各自ご発表の形式とパネルサイズを確認の上、作成するようお願いいたします。

1) 座長

- ・ 1 日目の 18 : 15 ~ 19 : 00 にポスターディスカッションを行います。
発表 4 分、質疑 2 分で進めてください。

2) 一般展示発表者

- ・ ポスターを掲示するパネルのサイズは下記の通りです。
パネルサイズ：横 90cm × 縦 210cm
- ・ ポスターは、1 日目午前 11 : 00 までに掲示してください。ポスターを掲示するパネルに演題番号がついていますので、会場に用意された押しピンを使用して掲示してください。
- ・ 1 日目の 18 : 15 ~ 19 : 00 にポスターディスカッションを行います。発表者はご自身のポスターの前で待機してください。各セッションの座長の進行に従って、発表 4 分、質疑 2 分をお願いいたします。
- ・ 2 日目の全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願いいたします。終了後 18 : 30 過ぎても残っているポスターは処分いたしますので、ご了承ください。



※演題番号は事務局で準備します

3) クイズ展示発表者

- ・ ポスターを掲示するパネルの大きさは下記の通りです。
パネル上（出題）：横 90cm × 縦 105cm
パネル下（解答解説）：横 90cm × 縦 105cm
- ・ 出題部分には患者の年齢、性、簡単な主訴や経過、症例の画像のみを提示するように作成してください。
図の説明は検査法のみとし、所見の解説はつけないようお願いいたします。矢印や矢頭はつけていただいても構いません。
- ・ 解答解説部分には演題名に続いて、画像の説明、最終診断、症例の解説をお願いいたします。出題部分と重複してお示しいただいても構いません。
- ・ 上記の原稿を指定日までに事務局宛に送付してください。解答・解説部分を隠して掲示致します。なお、第 1 日目の 18 : 00 より解答・解説部分を公開いたします。
- ・ クイズ展示に関して座長の設定や口演発表ならびにポスター前で待機していただく必要もございません。
- ・ 2 日目の全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願い致します。終了後 17 : 50 過ぎても残っているポスターは処分いたしますので、ご了承ください。

4. 社員総会（世話人会）

日 時：6 月 5 日（金）11 : 20 ~ 11 : 50（30 分）
場 所：口演会場 2F 国際会議室

5. クイズ企画

クイズ企画の問題が 6 月 5 日（金）11 : 00 よりロビーにて掲示されており、参加受付にてお配りいたします「クイズ企画応募用紙」に記入の上、応募箱に入れてください。皆様、奮って解答ください。
なお、回答は 6 月 5 日（金）18 : 00 以降に公開されます。
「クイズ企画応募用紙」より解答を応募された中からクイズ症例優秀者表彰を 6 月 6 日（土）15 : 25 ~ 2F 国際会議室にて行います。上位の方には、大会長より心ばかりの賞品をご用意しております。
皆様、是非ご参加ください。

6. 打田賞受賞講演・表彰

日 時：6 月 6 日（土）14 : 50 ~ 15 : 20
場 所：2F 国際会議室

7. 基調講演

【基調講演】（日本専門医機構認定放射線科領域講習会）

共催：バイエル薬品株式会社

日 時：6月5日（金）13：00～14：00

座 長：藤井 進也（鳥取大学医学部 画像診断治療学分野）

演 者：伊良波裕子（琉球大学大学院医学研究科 放射線診断治療学講座）

『分娩後・流産後異常出血の病態理解と画像診断戦略—PAS と RPOC を中心に—』

梶田 祐三（愛媛大学大学院医学系研究科 肝胆膵・乳腺外科学）

『最新の肝胆膵外科治療—進行・再発癌への挑戦—』

8. 共催セミナー

【ランチョンセミナー 1】 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

日 時：6月5日（金）12：00～12：50

『Deep Learning と共に歩む新しい腹部画像診断の未来』

座 長：富山 憲幸（大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線医学）

演 者：高橋 正明（信州大学 医学部附属病院 放射線科）

『最新 Deep Learning 再構成による腹部 CT の進化

～ Dual Energy 画像を学習した新たな DL 技術の臨床初期使用経験 ～』

祖父江慶太郎（神戸大学医学部附属病院 放射線診断・IVR 科）

『最先端 Deep Learning が変える腹部 MR 画像～進化する高画質と高速ワークフロー～』

【ランチョンセミナー 2】 GE ヘルスケアファーマ株式会社

日 時：6月6日（土）11：55～12：45

『腹部腫瘍における自然退縮の画像と病理の対比～この摩訶不思議な現象の謎に迫る～』

座 長：坪山 尚寛（近畿大学医学部 放射線医学教室放射線診断学部門）

演 者：小山 貴（倉敷中央病院 放射線診断科）

【ティータイムセミナー 1】 ゲルベ・ジャパン株式会社

日 時：6月5日（金）15：05～15：55

『エキスパートから学ぶ腹部領域の画像診断～教えます日常診療から最新知見まで～』

座 長：赤羽 正章（国際医療福祉大学 成田病院）

演 者：中村 優子（広島大学大学院 医系科学研究科 放射線診断学研究室）

『アップグレードのための Tips：目的に応じた撮影プロトコル選択と被ばく最適化を再考する』

市川新太郎（山梨大学 放射線診断学講座）

『症例から学ぶ腹部画像診断：臨床医に刺さる読影 Tips』

【ティータイムセミナー 2】 ブラッコ・ジャパン株式会社

日 時：6月6日（土）13：50～14：40

『腹部腫瘍早期診断を支える先端画像診断について』

座 長：陣崎 雅弘（慶應義塾大学医学部 放射線科学教室（診断））

演 者：野田 佳史（岐阜大学大学院医学系研究科 先端画像開発講座）

『小径膵癌をどう捉えるか—Dual-energy CT による画像診断』

演 者：玉田 勉（川崎医科大学 放射線診断学教室）

『早期前立腺癌の臨床マネジメントにおける MRI の活用』

【イブニングセミナー 1】 富士製薬工業株式会社

日 時：6月5日（金）17：15～18：05

『腹部画像診断の実践知～早期膵がんと産婦人科領域のエッセンス～』

座 長：藤永 康成（信州大学医学部 画像医学教室）

演 者：井上 大（恵寿総合病院 放射線科）

『早期膵がん診断の現状と課題～押さえておくべきポイント～』

演 者：木戸 晶（富山大学医学部 放射線診断・治療学講座）

『症例から考える産婦人科画像診断の勘どころ』

【イブニングセミナー 2】 株式会社フィリップス・ジャパン

日 時：6月6日（土）16：00～16：50

『上腹部 MRI の最前線 2026 - SmartSpeed Precise と DWI が切り拓く新たな診断価値』

座 長：福倉 良彦（川崎医科大学 機能代謝画像診断学教室）

演 者：尾崎 公美（浜松医科大学 放射線診断学講座）

『SmartSpeed Precise がもたらす上腹部画像診断の新展開』

演 者：小坂 一斗（金沢大学 放射線科）

『肝 MRI の進歩 2026：サンプリング法の工夫と SmartSpeed Precise による 3D/DWI への展開』

【モーニングセミナー 1】 キヤノンメディカルシステムズ株式会社

日 時：6月5日（金）9：25～10：15

『AI によって広がる CT・MRI 腹部画像診断』

座 長：楯 靖（島根大学医学部 放射線医学講座）

演 者：南口貴世介（奈良県立医科大学 放射線診断・IVR 学講座）

『超解像 DLR の腹部 CT 画像診断の現状と今後の展望』

演 者：田辺 昌寛（山口大学大学院 医学系研究科 放射線医学講座）

『DLR-MRI が再定義する上腹部 MRI ～画質・効率・診断の新たなバランス～』

【モーニングセミナー 2】 シーメンスヘルスケア株式会社

日 時：6月6日（土）8：55～9：45

『Siemens Healthineers MR/CT 最前線 - “見え方” が変わると “診断” が変わる』

座 長：村上 卓道（神戸大学大学院医学系研究科 放射線医学分野）

演 者：角谷 嘉亮（金沢医科大学 放射線医学教室）

『Deep Resolve で加速する 膵の高精細 MRI シーケンス』

演 者：三宅 基隆（国立がん研究センター中央病院 放射線診断科）

『NAEOTOM Alpha.Prime の初期使用経験～Oncology 領域～』

9. 企業展示

日 時：6月5日（金）～6月6日（土）

会 場：1F 情報プラザ

1. PSP 株式会社
2. テルモ株式会社
3. 東レ・メディカル株式会社
4. 株式会社カネカメディックス

4つの企業展示をめぐるスタンプラリーをご用意しております。全てのスタンプを集めてくださった皆さまには、特別な景品をプレゼントいたします。

10. 情報交換会

日 時：6月5日（金）19：30～21：30

場 所：ANA クラウンプラザホテル米子 2F 飛鳥

会場案内図

●交通案内

..... 飛行機(米子鬼太郎空港行き)

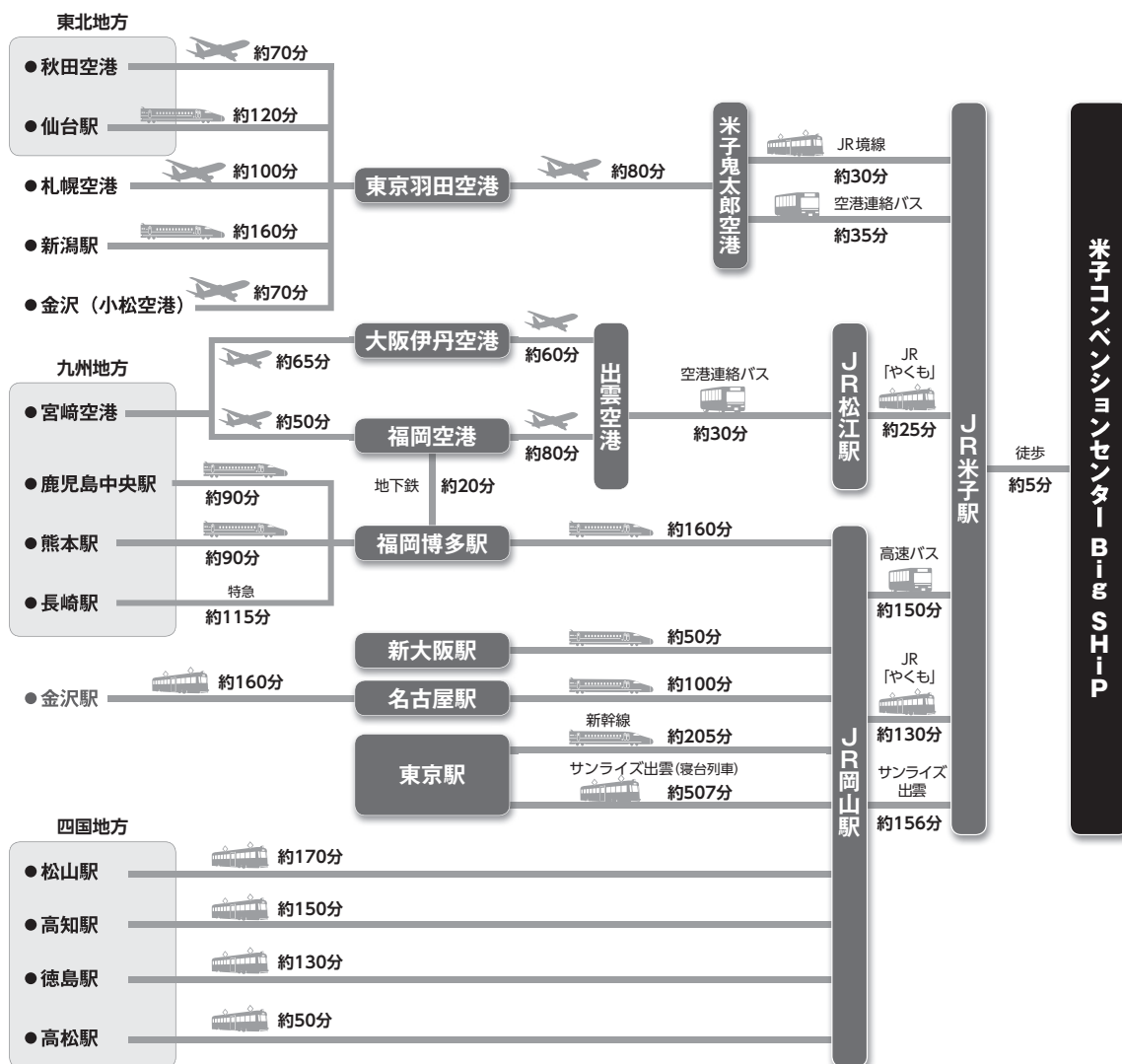
..... 飛行機(出雲空港行き)

■ 新幹線

■ JR特急やくも

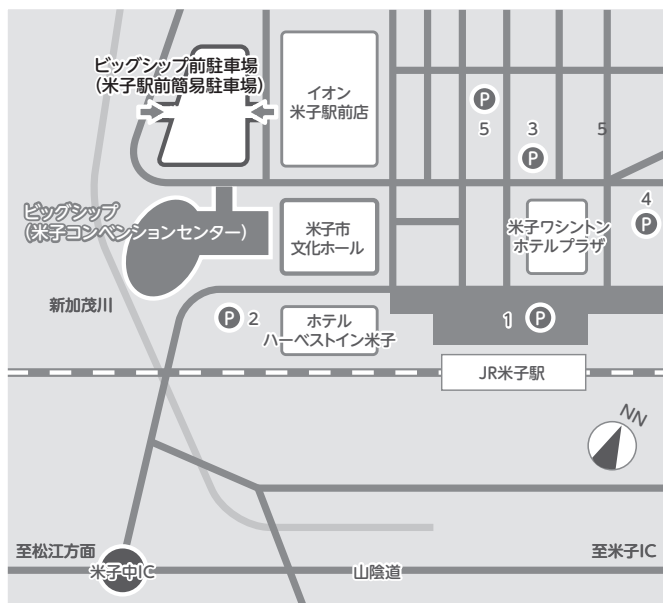
※ 米子鬼太郎(きたろう)空港は米子空港の愛称です。

※ 在来線は記載しておりません。



米子コンベンションセンター Big SHIP

●会場案内



◆駐車場のご案内

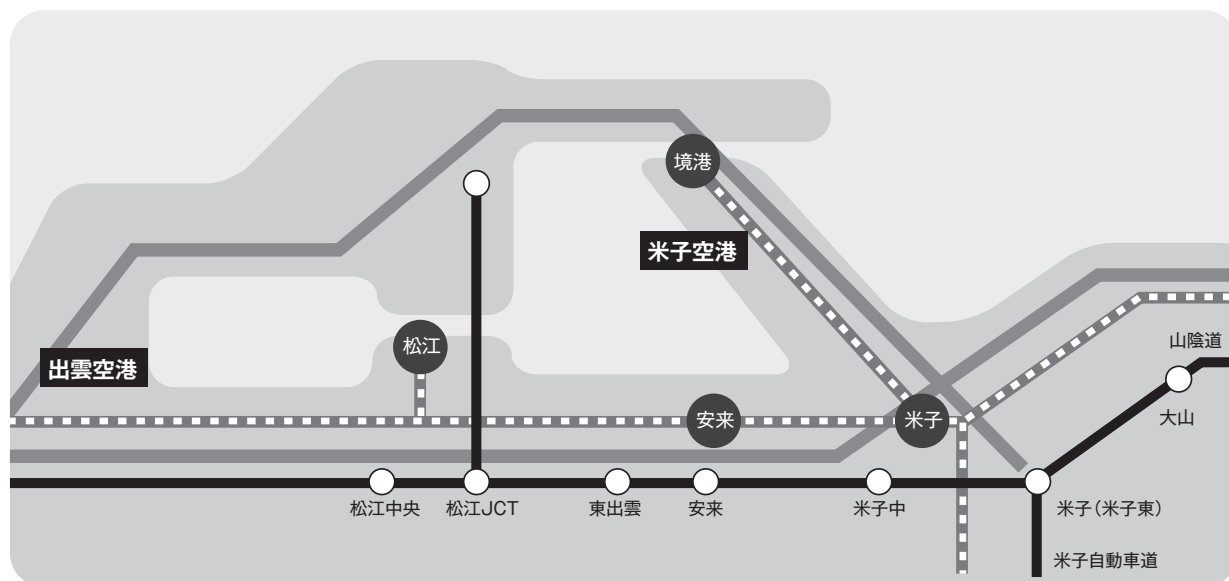
※ビッグシップ前駐車場では、米子コンベンションセンターをご利用されたお客様の駐車料金が割引となります。ご参加される会場内まで駐車券をご持参下さい。出庫後で料金をお支払い済みの場合は対象となりませんのでご了承ください。

※P 1～P 5は近隣の有料駐車場です。米子コンベンションセンターの利用割引は適用されません。

- JR米子駅から徒歩5分
- 米子空港から車で約25分
- 米子自動車道米子I.Cから山陰自動車道（松江方面行き）経米子中I.Cから車で約5分

※松江方面からお越しの場合は、米子西I.Cを下りてくださ

●各空港からのアクセス図

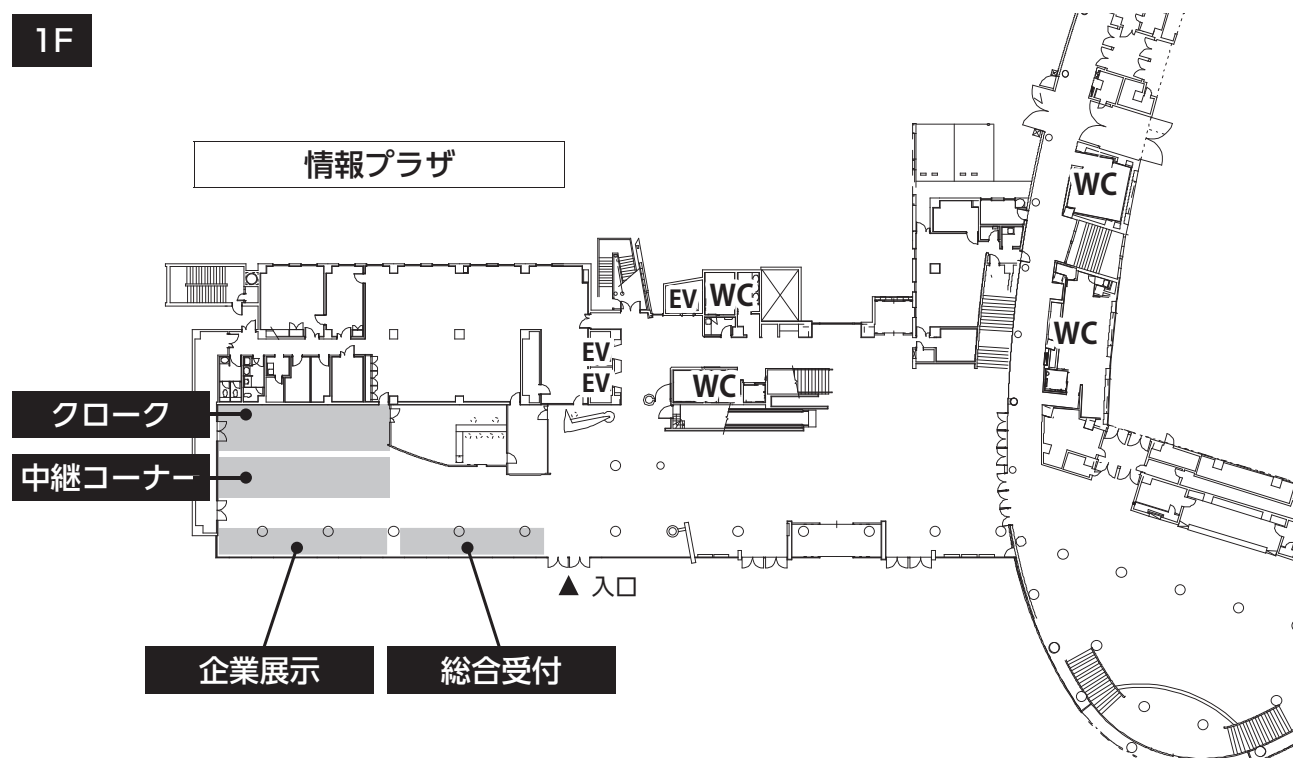


出雲空港からは空港連絡バスが各便到着の約10分後に出発します。
詳細は空港ホームページおよび運行会社ホームページをご確認ください。

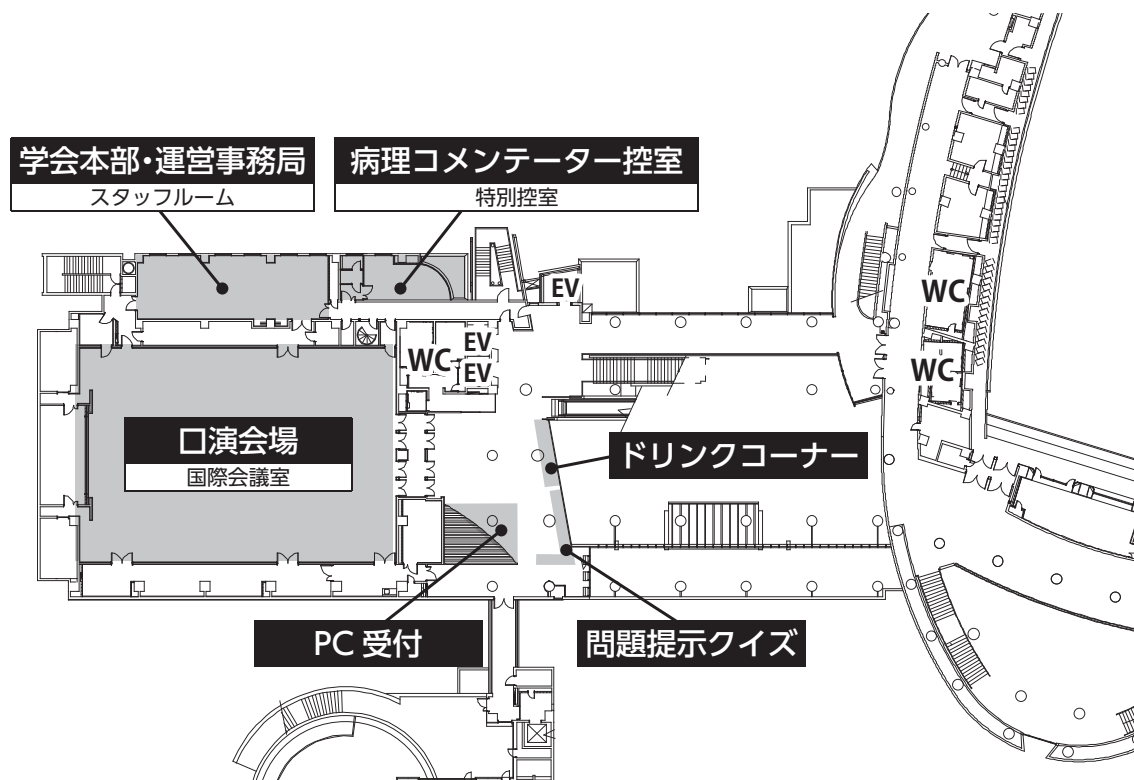
会場フロア図

米子コンベンションセンター

1F

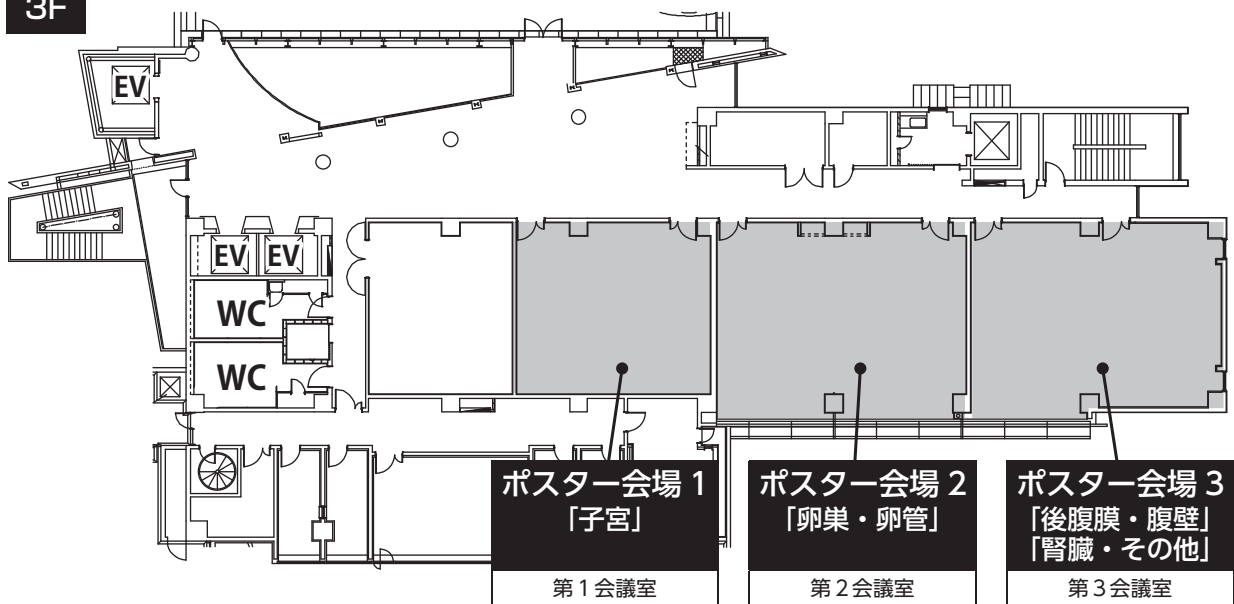


2F

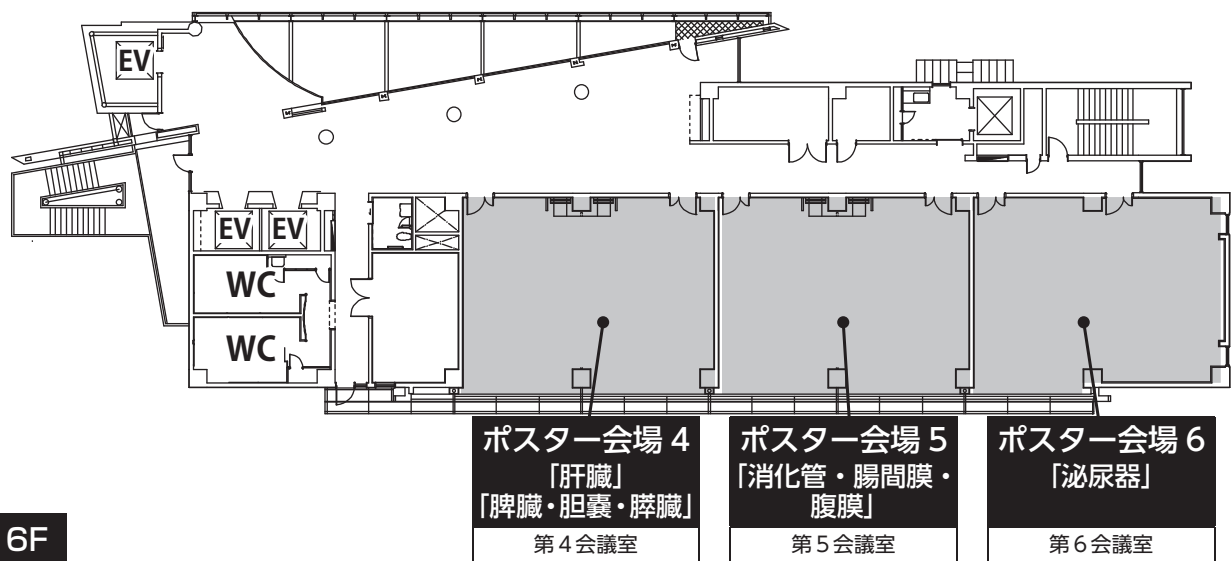


米子コンベンションセンター

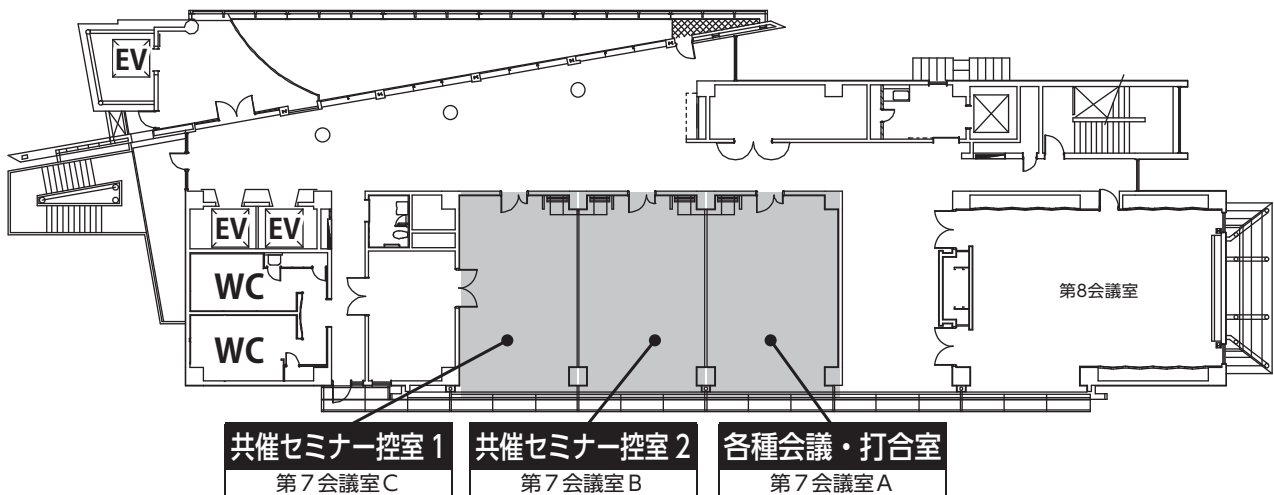
3F



5F



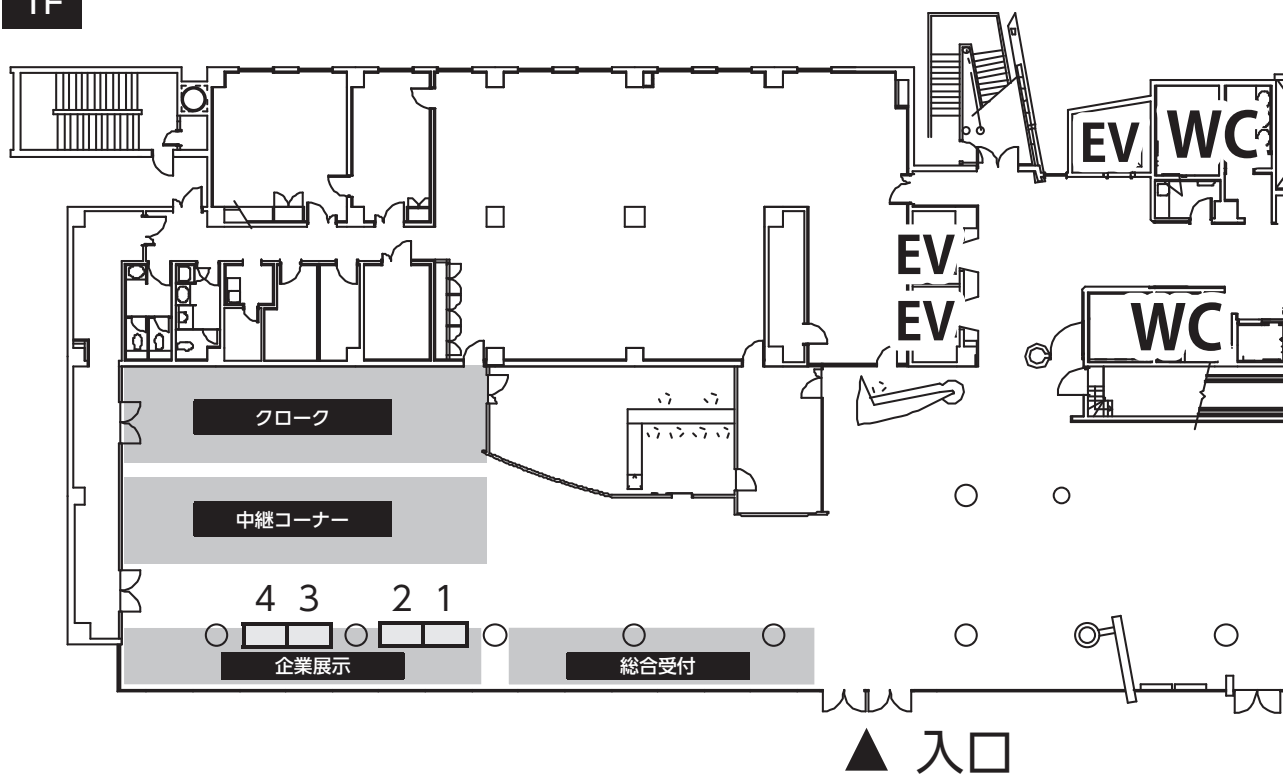
6F



企業展示配置図

米子コンベンションセンター

1F

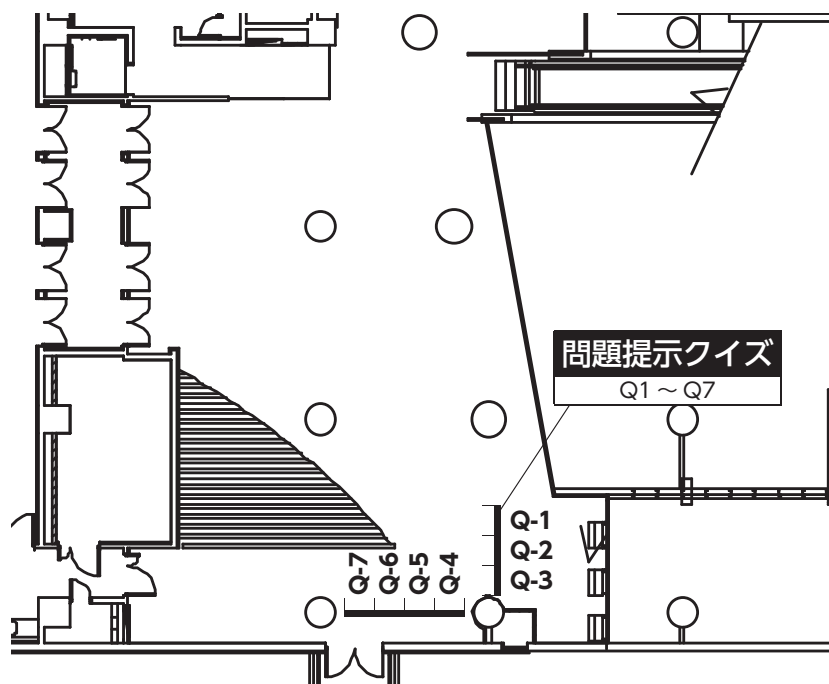


No.	出展社一覧
1	PSP 株式会社
2	テルモ株式会社
3	東レ・メディカル株式会社
4	株式会社カネカメディックス

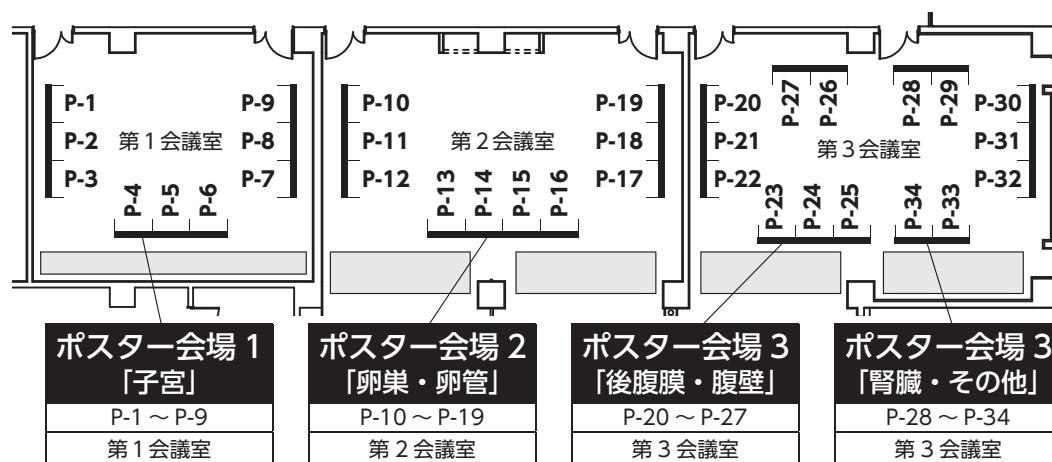
ポスター配置図

米子コンベンションセンター

2F



3F



5F

